

◆奨励賞◆

多様性の尊重

金 目 中 学 校 二 年

定 田 桜 歩

私は皆さんに質問したいことがあります。なぜ、手話は英語とは違う扱いなのでしょうか。英語が、外国の言葉ならば、手話や点字も耳の不由な方、目の不自由な方の言葉だと思います。

例えば私が小さい時にこんな事がありました。手話を習い始めて、平塚駅にいったとき、ある女性を見つけました。その方は耳の不自由な方でした。その女性は手話で

「どこへ行けばいいのかわからない。」

と言っていました。ですが周りにいる人達は無視する人、白い目で見るとばかりでした。私も一瞬無視しかけました。自分の手話を通じることが分からなかったからです。けれど困っている人は放っておけないし、せっかく手話を習っているのです、勇気を出して、声をかけました。そして、私はその女性に、たどたどしくでしたが、行き先を手話で伝えました。その時女性がとても優しく微笑んでくださって、最後に

「ありがとう。」

と手話で表現をしてくださった事が、とても心に残っています。その時から、人助けをして、人に喜んでもらえることが前よりも好きになり、今は耳の不自由な方のために、手話検定四級を持っています。

人助けを必要としている人への人助けは、SDGsの多様性の尊重と、

つながると思います。多様性の尊重は少子高齢化が進んでいる日本は、特に大切だと思います。お年寄りの方が増え、介護が必要な方が増えているのに、介護者が少ないということは、生活の支援が行き届きづらくなります。それを減らすためには、学校の授業で手話、点字、介護サポートの勉強をして、子供の頃から教えておくことが重要です。他にも介護サポートの講座などを聞き、身近な人が介護が必要になったときのために、備えることが大事です。

最後に一つだけ。私の祖父や祖母はもうすぐ介護が必要になる年齢です。学校でSDGsの多様性の尊重を調べて、興味が湧き、この作文を書きました。私は何事にも、きっかけが大事だと思います。この作文を書きかけに、多様性の尊重について、興味を持っていただけたら嬉しいです。